

■ 科学技術賞

さとうのぶゆき

佐藤 信幸

軽金属製品協会 理事

試験研究センター 取手試験所長

アルミニウムの陽極酸化塗装複合皮膜の屋外耐久性の研究及び標準化

佐藤氏は、アルミニウムの陽極酸化塗装複合皮膜（以下「複合皮膜」という）の規格・JIS H 8602 を改正して耐候性・耐食性などを中心とした性能規定型規格にするために、軽金属製品協会が国の助成を受けて平成13年度～15年度の3年間「アルミニウム陽極酸化塗装複合皮膜の耐久性試験方法の標準化」に関する試験研究を実施したプロジェクトにおいて、自ら実施計画の策定、試験の実施を主導し、また多量の試験データを解析して試験報告書にまとめた。この試験研究結果は、JIS H 8602 の改正、中国国家規格との整合化協議及びISO規格提案に生かされている。複合皮膜は日本で開発された技術で、現在わが国のアルミ建材の97%に利用され、近年では韓国、台湾、中国など東アジアで広く使われているアルミニウムの表面処理であり、複合皮膜の性能評価方法の発展に寄与した佐藤氏の功績は誠に大きい。

（推薦団体：軽金属製品協会）

（所属・肩書きは受賞決定当時 敬称略）